

歯学部

| | | | |
|----|-------|-------|--------|
| I | 教育の水準 | | 教育 5-2 |
| II | 質の向上度 | | 教育 5-4 |

I 教育の水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

分析項目 I 教育活動の状況

〔判定〕 期待される水準にある

〔判断理由〕

観点1-1「教育実施体制」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- アドミッション・ポリシーに沿って、入学者の選抜を行っており、AO 入学者選抜試験による入学者には、大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）への進学を前提とした、「歯学研究コース」を導入している。
- 平成 22 年度に歯科理工学分野に米国の大学から教授を採用し、英語教育の充実を図っている。また、平成 26 年度に総合歯科臨床教育学分野を設置し、歯学臨床教育担当として教授 1 名を配置し、平成 27 年度には歯科法医学分野を新設し、准教授 1 名を配置するなど、臨床教育体制の強化を図っている。

観点1-2「教育内容・方法」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 平成 23 年度から教養教育の英語授業を新たに 3 年次にも開講するなど、英語教育を強化している。また、平成 27 年度からは「歯学部生のための長崎歯科法医学セミナー」のほか、症例検討会「歯科法医学寺子屋」を定期的で開催している。
- 主体的学習促進支援システム（LACS）等の導入により、e-learning やアクティブ・ラーニングを推進している。
- 模型実習室の改修、充実を図るとともに、臨床技術の修得に必要なスキルスラボの整備を行い、シミュレーション教育に活用している。また、パソコンを活用した病理実習室の整備による画像共有等、教育環境の整備を行っている。
- 「離島歯科口腔医療・保健・福祉学実習」は、文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革－死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築－」（代表校：岡山大学）において、他大学へ提供するプログラムとして選定されている。

以上の状況等及び歯学部の目的・特徴を勘案の上、総合的に判定した。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 期待される水準にある

〔判断理由〕

観点2-1「学業の成果」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 第2期中期目標期間（平成22年度から平成27年度）の歯科医師国家試験の合格率は72.5%から84.5%の間を推移している。
- 平成25年度に実施した教育成果についてのアンケート結果では、大学で学んだ教育内容の満足度について、卒業生のほぼ全員が肯定的に回答している。

観点2-2「進路・就職の状況」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 第2期中期目標期間において、卒業後に研修医となった者のうち、55%は当該大学で、45%は他大学で勤務している。
- 6年次の臨床実習で診療参加型の実習において学生が直接治療に関わることで、医療人としての資質や歯科医師としての技術の向上に取り組んでおり、卒業生は学部の教授会、長崎県歯科医師会及び長崎市歯科医師会との間で実施されている協議会において、高い評価を受けている。

以上の状況等及び歯学部の目的・特徴を勘案の上、総合的に判定した。

Ⅱ 質の向上度

1. 質の向上度

〔判定〕 改善、向上している

〔判断理由〕

分析項目Ⅰ「教育活動の状況」における、質の向上の状況は以下のとおりである。

- 歯学研究コースの学生の英語による研究発表会への参加者は、平成 26 年度の 2 名から平成 27 年度の 10 名へ増加している。
- 離島歯科保健医療研究所を拠点とした高齢者型歯科医学教育において、「離島歯科口腔医療・保健・福祉学実習」が文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革－死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築－」における他大学への提供プログラムとして選定されている。
- 平成 27 年度に歯科法医学分野を設置し、歯科法医学教育を開始している。また、医歯薬学総合研究科歯科法医学分野及び死因究明専門医育成センターと連携し、「死因究明高度専門職業人養成事業」により、「歯学部生のための長崎歯科法医学セミナー」や、学生を対象とした症例検討会「歯科法医学寺子屋」を定期的を開催するなど、歯科法医学の教育拠点を目指す取組を行っている。

分析項目Ⅱ「教育成果の状況」における、質の向上の状況は以下のとおりである。

- 「Scientific and Practical English」等、学部独自の歯科英語教育に取り組んでおり、歯学研究コースでの優れた英語プレゼンテーションや短期海外留学生の増加につながっている。
- TOEIC について 1 年次と 3 年次の平均点を比較すると、平成 24 年度入学生は 441 点から 562 点へ、平成 25 年度入学生は 461 点から 595 点へそれぞれ上昇している。

これらに加え、第 1 期中期目標期間の現況分析における教育水準の結果も勘案し、総合的に判定した。